

2019 年度
マンスリーレポート No. 49

4月1日、久留米医学会雑誌の最新号が発行され、「総説：医学・医療の最前線シリーズ」に安達の「胃切除後の再建法から見た外科手術の理論と証拠」、柏木の「教育や学習の見える化と教育力の重要性」が掲載された。チームK(医学教育分野別評価)の報告書(改訂案)が提出され、実務班(石竹&安達)の編集作業が始まった(夕べの会)。

4月5日、新入生オリエンテーションが始まり、新しい矢野医学部長と石竹学生委員長の挨拶があった。夕方は学生食堂で交歓会が開催され、安達が117名に挨拶した。

4月6日 山田が第4回整形外科エキスパートカンファレンスで「脊椎疾患由来の慢性疼痛の治療戦略：多角的アプローチを目指して」を講演した(札幌)。

4月8日、新入生オリエンテーションで柏木が「Moodle 説明会」でガイダンスを行った。

4月9日、新入生オリエンテーションで安達が「勉強のしかた」、山田が「生活のしかた」を話した。今年度も「抱負カード」を書かせて財布に保管させた。

4月11日、久留米大学医学部 SP 会の新しい体制について看護学科の教員と相談した。

4月15日、教育講演会「第113回医師国家試験結果の解析」(MEC 最高顧問/兵庫医科大学客員教授 塩澤昌英氏)が行われ、82人の教職員が参加した。

4月19日、安達が第119回 日本外科学会定期学術集会のワークショップ「外科侵襲と予後」で指定演者「低侵襲手術の予後に関する文献レビュー」を発表した(大阪)。

4月23日、元気プロジェクト(代表：守屋普久子)が企画している女性医師アンケートについて、柏木が久留米高専(代表：黒木祥光)と共同アプリ開発の打合せ(2回目)を行った。

4月25日、共用試験 CBT 作問依頼問題のブラッシュアップに安達と柏木が参加した。SP 会の新しい体制と OSCE の模擬患者について谷脇教授と相談した。

4月27日、第4学年・第5学年の成績不振者に対する合同学習会(毎週土曜)が始まり、安達が小講義「急性腹症」で指導した。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

4月1日～2日、Impella オンサイトトレーニング(心臓血管外科)

4月3日、臨床研修医 新採用者オリエンテーション(臨床研修センター)

4月5日、シミュレータによる導尿実習 OJT(病棟看護師)

4月5日、一次救命処置講習会(救急蘇生小委員会)

4月9日、一次救命処置講習会(救急蘇生小委員会)

4月16日、シミュレータによる導尿実習 OJT(病棟看護師)

4月17日、一次救命処置講習会(救急蘇生小委員会)

4月18日、救急処置勉強会(病棟看護師)

4月18日、シミュレータによる導尿実習 OJT(病棟看護師)

4月18日、筋肉注射トレーナーによる実習 OJT(病棟看護師)

4月19日、看護学科実習授業：SCENSRIO シミュレータ使用(医学部看護学科)

4月19日、新人看護師研修会(看護部)

4月23日、VR 内視鏡、VR 内視鏡手術シミュレータによるトレーニング(小児外科医師)

4月24日、一次救命処置講習会(救急蘇生小委員会)

4月26日、看護学科実習授業：SCENSRIO シミュレータ使用(医学部看護学科)

文責：安達洋祐